

公務上死亡災害の発生状況

(平成27年度認定分)

平成29年2月

地方公務員災害補償基金

第2 公務上死亡災害発生事例

(2) 石綿曝露による被災

【事例16】水道管の切断作業に従事したことによる石綿曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：電気・ガス・水道事業職員
死亡年齢：70歳代 災害発生年月：平成26年8月
傷病名：悪性胸膜中皮腫（肉腫型）

(概要)

カッターで水道管を切断し、粉じんを吸い込みながら作業を行っていたため、悪性胸膜中皮腫を発症した。

(安全・衛生対策)

事例紹介により同様の災害の未然防止に努める。

【事例17】水道管の修繕作業に従事したことによる石綿曝露

団体区分：市町村等 職員の区分：その他の職員
死亡年齢：70歳代 災害発生年月：平成27年3月
傷病名：左悪性胸膜中皮腫

(概要)

被災職員は、簡易水道の石綿管の修繕作業に従事していたが、当時は石綿の発がん性を知らず、マスク等装着せずに作業していたため、左悪性胸膜中皮腫を発症した。

(安全・衛生対策)

健康診断を実施している。